

# リアルな最新事例で学ぶ！強い経営・次の一手

## ～知って得する知財マネジメント～

令和6年度 INPIT主催セミナー 受講者アンケート集計 (303名分)

一般セミナー(開催地/アンケート回答: 245名): 京都オンライン(6)、宮崎(21)、岡山(16)、徳島(24)、  
広島(22)、山口(27)、兵庫(20)、静岡(22)、福岡(26)、熊本(19)、東京(29)、企業オンライン(13)

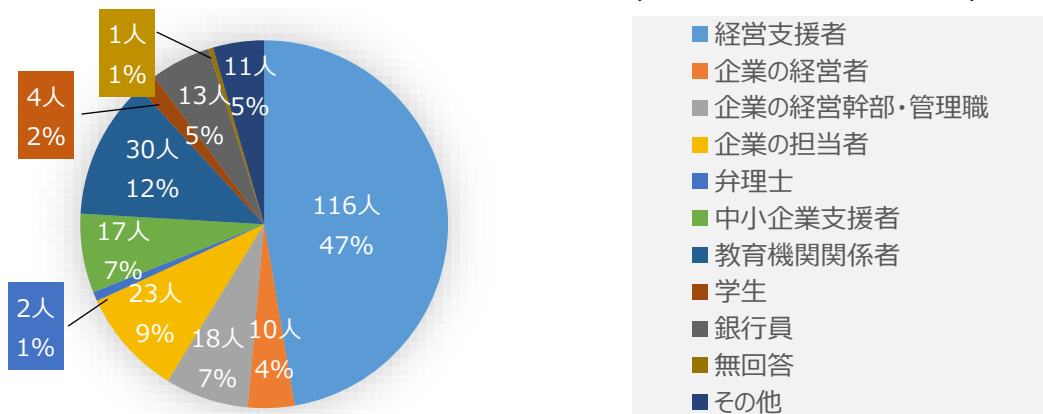
講師育成セミナー(開催地/アンケート回答: 58名): 大阪(11)、東京(28)、オンライン(19) 合計15回

### 【一般セミナー】

#### 1. 職業と勤務年数

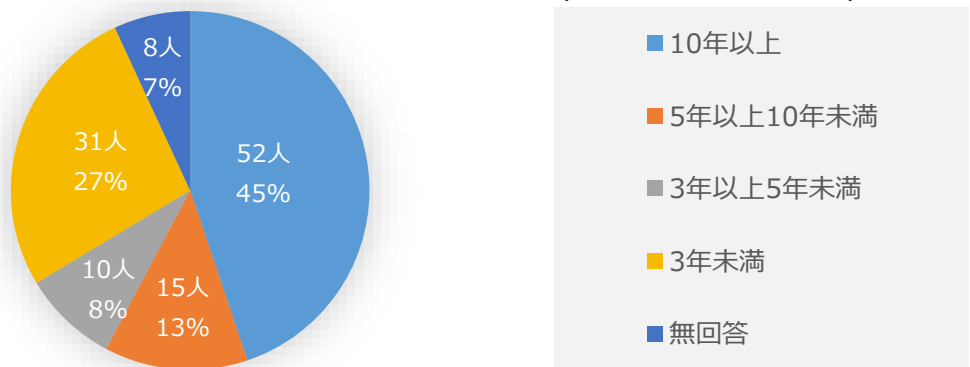
##### A. 職業

(回答数 245: 一般セミナー全員)



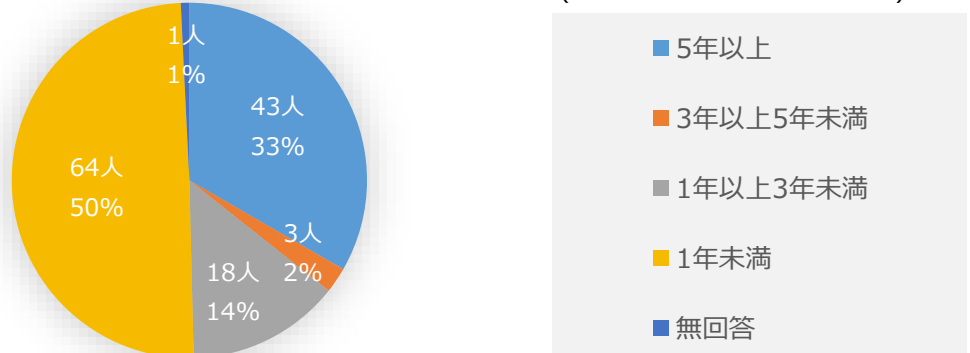
##### B. 経営支援員としての勤務年数

(回答数 116: 経営支援者)



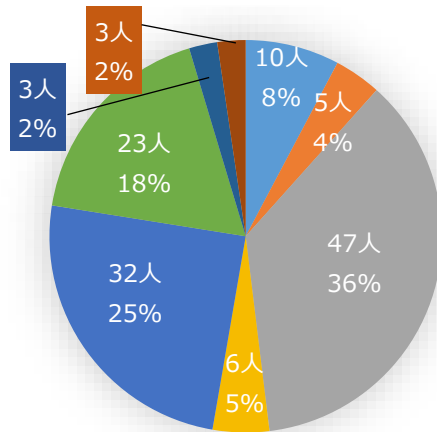
##### C. 知的財産関連の経験年数について

(回答数 129: 経営支援者以外)



## 2. セミナー参加について

### A. 参加したきっかけ



(回答数 129：経営支援者以外)

- チラシを見た
- HP（ホームページ）を見た
- 支援機関、支援団体からのメール等
- INPITからの紹介
- 職場・知人からの紹介
- 研修
- その他
- 無回答

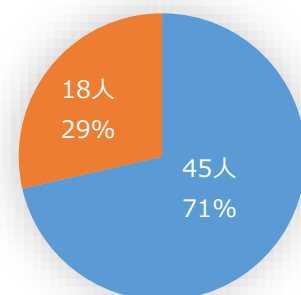
### B. 参加理由（自由記述）（回答数75）

- ・ 知財戦略に関する実践的学びの習得、業務での活用のため（類似回答数22）
- ・ 知財に関する知識の習得のため（類似回答数17）
- ・ ワークショップ形式、事例の内容、講義の進行方法等に対する関心があったため（類似回答数13）
- ・ 職場・知人の紹介、職場・学内研修等（類似回答数11）
- ・ スタートアップ企業や顧客、学生への支援・サポート強化のため（類似回答数10）
- ・ 起業を考えている（類似回答数2）

## 3. 使用事例について

### A. 国内編(1-1)「機能とデザインによる市場獲得」

(回答数 63: 宮崎、兵庫、静岡)



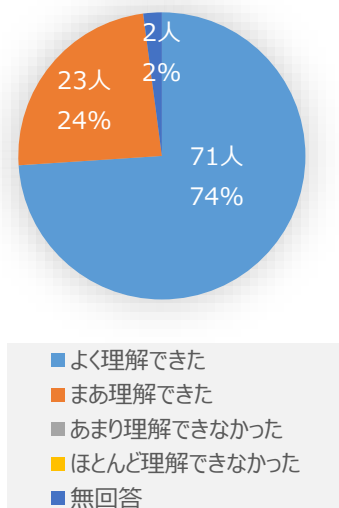
- よく理解できた
- まあ理解できた
- あまり理解できなかった
- ほとんど理解できなかった

### 【自由記述】（回答数75）

- ディスカッションにより理解が深まった、多様な意見を聞いた（類似回答数6）
- 事例が理解しやすい内容だった（類似回答数5）
- 解説が丁寧で理解しやすかった（類似回答数4）
- 個人ワーク、グループワーク後の解説があり分かりやすかった（類似回答数3）
- 商品を守る為には、マーケットインの考え方
- 意匠権をあまり意識しなかった
- 事例をまじえた研修だったため
- 商標が難しかった
- 「意匠権」に対する知識を身につけられた
- まだまだ知らないことがあり、知りたい

## B. 国内編(1-2)「展示会における模倣リスクと技術・デザインの流出対策」

(回答数 96：京都オンライン、宮崎、山口、兵庫、静岡)

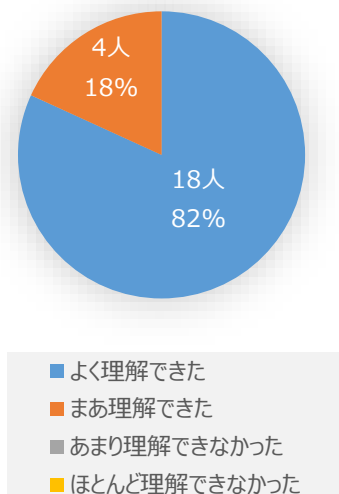


### 【自由記述】 (回答数38)

- 内容、解説が丁寧で、理解しやすかった (類似回答数6)
- 展示会でのリスク、注意点が理解できた (類似回答数6)
- 事例が身近な内容だった、実体験に近かった (類似回答数6)
- ディスカッションで多角的な視点と知識を得られ、理解が深まった (類似回答数5)
- 検討すべき点、知財の扱いの難しさが理解できた (類似回答数3)
- 対策がわからなかったのでもいい勉強となった
- 様々なケースを学ぶことができた (類似回答数3)
- 知財の重要性、取り組み方の注意点を勉強できた (類似回答数3)
- 具体的事例でイメージしやすかった (類似回答数2)
- 十分ではないが、考え方が少し理解できた
- まだまだ知らないことがあり、知りたい
- ワークの時間が少し短かった

## C. 国内編(1-3)「共同開発における事業展開」

(回答数 22：広島)

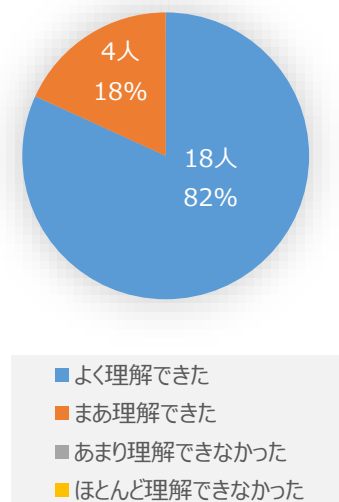


### 【自由記述】 (回答数9)

- 質疑で知識を深めることが出来た
- 契約の仕方だけではなく、単独出願と共同出願を使い分けるといった点が非常に参考となった
- 共同開発の注意点がよく分かった
- グループ内外の人の考え、先生やファシリテーターのコメントとあらゆる観点の話が聞けて理解が深まった
- ポイントを的確に説明していただいた
- グループの補助(INPITの方)によるアシストがよかった
- 様々な考え方があることがわかった。事例をしっかり勉強すると今後役立ちそうだと感じた。
- 事前検討が一番大事であることを改めて理解した。ケース毎のポイントをまとめていいと思う。
- 話し合いがよかった

## D. 国内編(2-2)「ノウハウ、営業秘密の保護管理」

(回答数 22：広島)

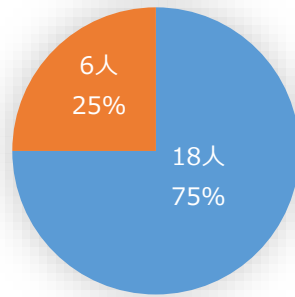


### 【自由記述】 (回答数8)

- 質疑で知識を深めることが出来た
- 業務委託する際に、営業秘密として管理するものの整理は非常に重要だと改めて感じた
- ノウハウ、営業秘密の保護管理の実態が理解できた
- グループ内外の人の考え、先生やファシリテーターのコメントとあらゆる観点の話が聞けて理解が深まった
- ポイントを的確に説明していただいた
- グループの補助(INPITの方)によるアシストがよかったから
- ノウハウと特許についてよくわかっていなかったの、勉強になった
- 話し合いがよかった

### E. 国内編(2-4)「侵害警告への対応」

(回答数 24 : 徳島)



- よく理解できた
- まあ理解できた
- あまり理解できなかった
- ほとんど理解できなかった

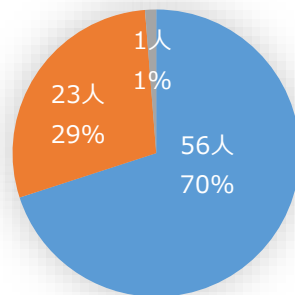
#### [自由記述] (回答数5)

- 事例、解説がわかりやすかった
- 自分が知らない知識を得ることができた
- 理解しやすい事例だった
- グループディスカッションをすることで知識が深まった
- 解説等がわかりやすかった

### F. 国内編(3-1)「持続的成長のための価値創造」

(回答数 80 : 岡山、徳島、山口、企業オンライン)

#### [自由記述] (回答数27)



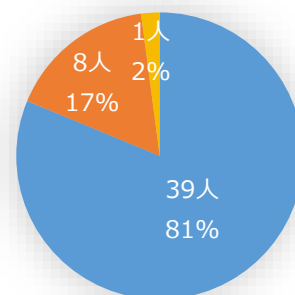
- よく理解できた
- まあ理解できた
- あまり理解できなかった
- ほとんど理解できなかった

- 事例、解説がわかりやすかった (類似回答数6)
- ディスカッションで多角的な視点と知識を得られ、理解が深まった (類似回答数3)
- 検討すべきこと、知財の活用方法の学びができた (類似回答数3)
- 経営指導、顧客管理等に活かせる内容だった (類似回答数2)
- ブランド力やユーザー人気といった知財を武器に事業の再構築できる事例は、全く新しい視点で大変勉強になった
- 企業再生において知財を活用する例を学ぶことができた
- 特許と商標権の違い、ライセンス契約の意味を確りと理解していなかった
- 再学習ができた
- 事前学習もしていたのですんなり理解できた
- 時間が足りないように感じた (類似回答数3)
- 解説、グループ内の意見を聞き、少しは理解できた (類似回答数2)
- 戦略が少し苦手、内容が難しかった (類似回答数2)
- 考える時間が足りなかった

### G. 国内編(4-2)「アジャイル開発における知財マネジメント」

(回答数 48 : 熊本、東京)

#### [自由記述] (回答数29)

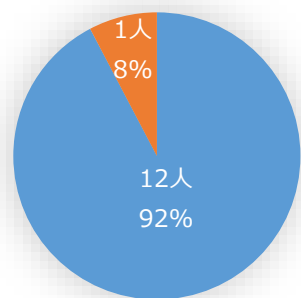


- よく理解できた
- まあ理解できた
- あまり理解できなかった
- ほとんど理解できなかった

- ディスカッションで多角的な視点と知識を得られ、理解が深まった (類似回答数11)
- 事例が分かりやすかった (類似回答数6)
- アジャイル開発の特性に合った知財マネジメントを知れた
- 知財の権利化のタイミングの見極めなど勉強になった
- 特許の説明、開発中からのブランド保護について
- 意匠に絞ってもいいかもしれないと思った
- 特許出願のタイミングと内容、戦略などを理解できた
- アジャイル、ベンチャーに限らず、新規開発案件全般に応用されるケースだった
- 理解できたが、より深く考えたかと思ったから
- アジャイル開発の案件で1問目にして難易度が高かった
- 新参者なので自身の視野のせまさから
- 全部読みきれなかったところはもちかえってよみたい
- 設問2が少しわかりにくかった
- 理解しきることは出来たか分からないが、観点や考慮すべきポイントは理解できた

## H. 国内編(4-3)「企業・製品価値を高める特許戦略」

(回答数 13：企業オンライン)



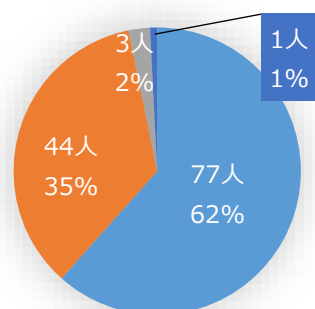
■ よく理解できた  
■ まあ理解できた  
■ あまり理解できなかった  
■ ほとんど理解できなかった

【自由記述】 (回答数7)

- 事前学習もしていたのですんなり理解できた
- 開発の立場から特許をどのような段階で申請するのか、また資金調達の為のエクイティストーリーを描く為の説得力としての使い方など知財についての理解の幅が広がるセッションだった
- グループワークで得られた知見に加え、解説がよく補足されていた
- GWを通じて他参加者の意見も勉強にしつつ思考を深められた
- 企業がどのような狙いで知財戦略を考えているのかを考察することで、知財の大切さと他企業とかかわる際の留意点について気づくことができた
- 旬な話題でもあるサステナブルを用いていただいたため、理解することができた
- 成長領域では知財が重要な意味をもつため、他社との競合状況を鑑みながら活用を考えていく必要があると理解できた

## I. 国内編(5-1)「創業期を支えた知財戦略」

(回答数 125：宮崎、山口、静岡、福岡、東京)



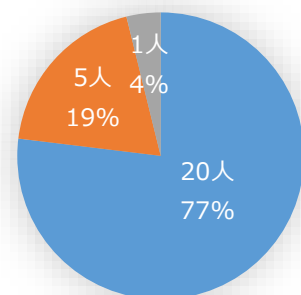
■ よく理解できた  
■ まあ理解できた  
■ あまり理解できなかった  
■ ほとんど理解できなかった  
■ 無回答

【自由記述】 (回答数54)

- ディスカッションで多角的な視点と知識を得られ、理解が深まった (類似回答数8)
- 事例が具体的だった、身近な事例で分かりやすかった (類似回答数7)
- 分析の重要性、検討すべき事項を理解できた (類似回答数5)
- 講師やサポーター、参考解の解説が分かりやすかった
- 知識を整理できた
- 節水だけでなくバブルの洗浄効果まで含めて興味持った
- 馴染みのない内容で少し難しく感じた (類似回答数7)
- ベンチャーならではの悩み、強みを再認識できた (類似回答数5)
- もっと知りたい。読み切れなかった箇所をよく読みたい (類似回答数2)
- マーケティングと知財の重要性(商品の強みの把握など)を理解できた
- 考え方は理解できたが、実践できる自信はない
- 他のチームの方の視点から新しい気づきが得られた
- リンスタートアップの話が聞きたかった
- ビジネスの観点が入ってきて、少し難易度が高かった

## J. 国内編(5-2)「事業目的・ビジョンを体現する知財の使い方」

(回答数 26：福岡)



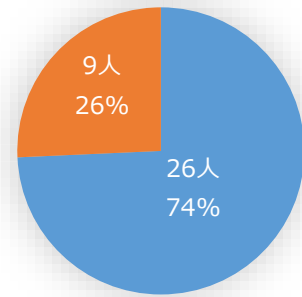
■ よく理解できた  
■ まあ理解できた  
■ あまり理解できなかった  
■ ほとんど理解できなかった

【自由記述】 (回答数5)

- 各人の考えを共有できた
- 語句について説明があり、積極的に参加できた
- 鴨鍋市という名称がネギとマッチしてよかった
- “食”のテーマで興味を持ちやすいから
- グループワークでとても理解できた

### K. 国内編(5-3)「ブランド化を下支える知財戦略」

(回答数 35 : 岡山、熊本)



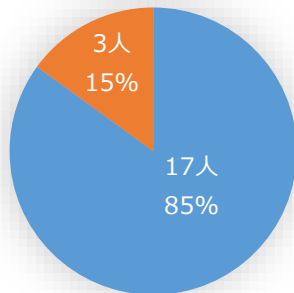
■ よく理解できた  
■ まあ理解できた  
■ あまり理解できなかった  
■ ほとんど理解できなかった

#### [自由記述] (回答数13)

- 知財の重要性がよくわかった
- よくある話で答えが凝り固まっていないか心配だったが、いろんなチームの解法がきけた
- 差別化＝ブランド化をどうすれば良いか知れた。戦略の深堀もしてみたい
- 皆さんに易しくご教示いただいた
- 各班の考えも聞けたし、参考解で学びを深められた
- わかりやすかった
- 知財のブランド力を学ぶことができた
- 理解できたが、より深く考えれたかと思った
- 他者の多様な意見を聞くことができた
- 新参者なので自身の視野のせまさから
- 物語でわかりやすい
- デザイン経営の良い事例だった
- 専門的知識についても、解説いただきながら学びたかった

### L. 海外編(3.2a)「生産委託・技術指導」

(回答数 20 : 兵庫)



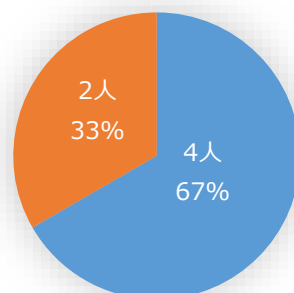
■ よく理解できた  
■ まあ理解できた  
■ あまり理解できなかった  
■ ほとんど理解できなかった

#### [自由記述] (回答数6)

- グループワークを通じての共有 & 講師の説明
- 多様なスタンスの考えをヒアリングできてよかった
- いろいろな意見が聞けた
- 海外事例なので集中して取り組んだ為
- ただ、その他にも打ち手があった様に感じた
- コア技術の重要性に気が付いた

### M. 海外編(4.1d)「事業運営段階－模倣品発見」

(回答数 6 : 京都オンライン)

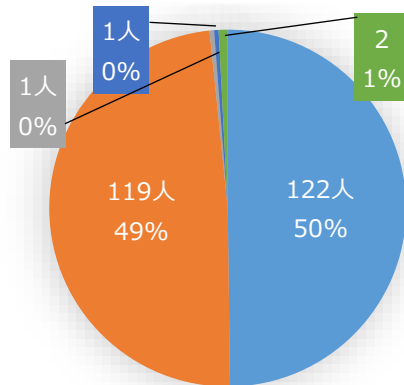


■ よく理解できた  
■ まあ理解できた  
■ あまり理解できなかった  
■ ほとんど理解できなかった

#### [自由記述] (回答数5)

- ケーススタディにて
- ファシリテーターの方がついていていぬいにご教示頂きまた解説いただいた
- 今後海外展開する事業者が増加すると考えます。その際に、事前に想定できることがあれば、知財トラブルの低減につながると感じた
- INPITさんのアドバイスが非常に参考になった
- 海外と国内の違いを事例から学んだ

#### 4. 本教材の使いやすさについて



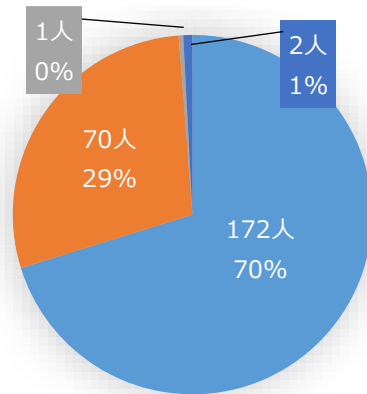
(回答数 245：一般セミナー全員)

- 大変使いやすい、よく理解できた
- まあ使いやすい、まあ理解できた
- あまり使いにくい
- 使いづらい
- その他
- 無回答

##### [自由記述] (回答数79)

- 具体的、身近な事例で分かりやすかった (類似回答数6)
- 必要かつ最小限の情報量で読みやすい (類似回答数6)
- 見やすく、使いやすい、理解しやすい (類似回答数5)
- 事例、ケースがコンパクトにまとめてあり理解しやすい (類似回答数5)
- 知財活用に関する事前情報が丁寧に記載されている (類似回答数3)
- ケースごとに事例が掲載されていて参考になる (類似回答数2)
- ポイントや「守り」「攻め」にわけてくれているのが良い (類似回答数2)
- 詳細の内容が分かり、イメージしやすい
- 事例形式の設問は状況の把握がしやすく、議論のしやすさに繋がった
- 学習テキストとケーススタディ、実際の事例がそろっており、理解しやすかった
- 物語＋学習 実事例で学びやすい
- 図解・用語に注釈がある
- 見開き1頁で設問がある
- ワークショップ形式だったから
- 自習できるから
- これまでになかったセミナーだった
- 議論を進めやすかった
- 動画と併せて利用することでより理解を深められるように思う
- 事例が短くまとめられていて理解しやすい (類似回答数6)
- 事例が具体的でイメージしやすい (類似回答数6)
- ケースによる事例や参考ポイントが明確に解説されていた (類似回答数5)
- 若干文字が多いと感じたので、イラストや表等で可視化すると理解が早くなると感じた (類似回答数2)
- 多くの分析方法があり、これを活用が有効であると判ったため
- 個別事例がストーリーとして掲載されているのがよい
- セミナーで項目を絞っていただき、教材の使い方を理解することができた。サイトの情報だと膨大な資料に見えてしまい、使い方が分からなかった。
- 少し字が小さい
- ケーススタディと解説が一つだと保管しやすい
- もう少し時間をかけて説明したほうがよい
- 5-1(Q2)が設問の意見をつかみづらいと感じた
- 知財担当者など、積極使用される方にはとても使いやすいような印象。一方で、本当は一番使って理解してほしいアカデミア研究者などにはとつきにくいかもしれない。
- 解説もつけてもらいたい
- 専門用語の解説が文書で示されているとさらに使いやすいと感じた
- 本科4年以上だとより良いと思った。3年以下だとSWOT分析、STP分析は難しいと思った。
- 大変使いやすいと思ったが、回答が網羅的だとよりうれしい
- 一つ一つはわかりやすかったが、講義中にあちこち動くのがやりにくかった
- 事前課題のYoutubeはあまり有用に感じられなかった。資料で十分な印象だった。
- もう少し図が欲しい

## 5. 知財マネジメントの参考になりましたか



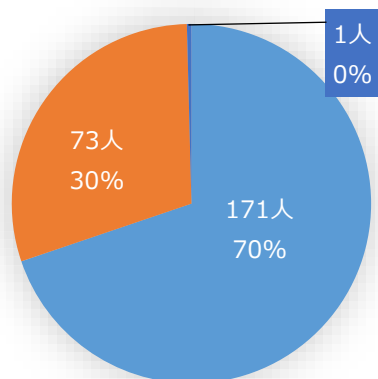
(回答数 245：一般セミナー全員)

- 大変参考になった
- まあ参考になった
- あまり参考にならなかった
- ほとんど参考にならなかった
- 無回答

### [自由記述] (回答数56)

- 実際に事例に基づいているため、多方面からの影響を考えることができた。イメージしやすかった。(類似回答数7)
- 実践的なグループワークで様々な意見を聞くことができた(類似回答数6)
- 改めて知財を経営戦略に組み込む重要性の理解が進んだ(類似回答数6)
- ケーススタディによる演習とグループワークにより、理解が深まった(類似回答数4)
- 知識が全くない状態からでも理解でき、初、中級者向けのコンテンツとして最適だと思う(類似回答数4)
- 専門家の話、意見を聞くことができた(類似回答数4)
- 自分で考えているだけでは出てこない視点のコメントが得られた(類似回答数3)
- 解説がわかりやすい(類似回答数3)
- 大変みやすくなっており、勉強になった(類似回答数3)
- 自社の状況と合うケーススタディを使用すると効果的な学びにつながると思った(類似回答数2)
- 具体的に支援者に説明できる内容であった(類似回答数2)
- 知財に関して興味を持つことができた(類似回答数2)
- 問題点や解決策は必ずしも知財の側面だけではないということが参考になった
- ビジョンは、知財の観点からみると危険な部分もあることを知ったのは有益だったし、自分に関わっていたので印象的だった
- 技術や専門性の高い商品を扱っている企業だけでなく、地域貢献度の高いブランド力ある企業や、顧客情報でさえも知財として考えられることに気づくことができた
- NDAや委託契約や共同研究の留意点がよく分かった
- 学生への教育をどうするかが問題
- 知りたかった部分が学べた。
- 忘れていた事を思い出した
- 失敗例も参考になると思ってる
- 講師、ファシリテーター、INPITの解説が勉強になった(類似回答数2)
- 意識するアンテナは立ったと思う
- リアル事例なども聞くことができて、参考になった
- 事業を成長させるためには知財が非常に重要であることがよくわかった
- 考え方が理解できたように思う
- 例が良かった
- 製品を開発する際にはPATに注意することに気づけた
- ベンチャーにとってのメリットは参考になった
- 知らないことを知れた
- 自分でやることはなかなかないと思うが、学生にもトライしてほしい
- 受け手としては参考になったが、展開する側としてどのように動けば良いかは難しいなと感じた
- これから学習する点が多いため
- もう少し難しい内容にも挑戦したいと思った。入門編、応用編のようにわけてもいいと感じた。
- 教養として深まったが、活用方法、戦略については自分がお客様とディスカッションできるレベルまでは至ってないと感じた
- もっと技術的な情報がほしかった

## 6. 講師が話す内容、情報、講義の進め方について



(回答数 245：一般セミナー全員)

- 大変良かった
- 良かった
- あまり良くなかった
- 良くなかった
- 無回答

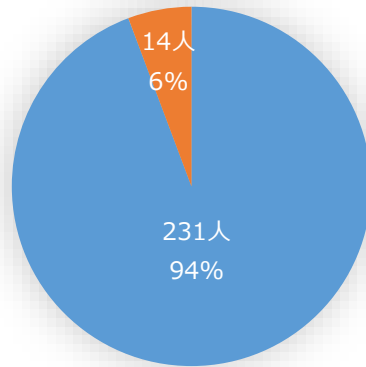
### [自由記述] (回答数71)

- 説明が分かりやすかった (類似回答数9)
- 要点が絞られていて分かりやすかった (類似回答数9)
- 豊富な実事例で分かりやすい説明だった (類似回答数5)
- 分かりやすく、聞きやすかった (類似回答数4)
- 講師、ファシリテーターの豊富な知識とご意見 (類似回答数4)
- 専門知識がなくてもわかりやすく話をしてくれた (類似回答数2)
- 知りたかったことをしっかりと話してくれた
- 解析が分かりやすいものであった
- 教科書通りの話でなく、わかりやすかった
- 演習後の解説でさらに学びが広がった
- 教材に沿って進めていただいたので非常にわかりやすかった
- タイムマネジメント、それに関連するタスクの量の管理が素晴らしい
- 集中力が切れない適切な時間だと思う。
- 講師やファシリテーターが席を巡回しながら受講生とコミュニケーションを取ることで、グループ内の話の幅がより広がった
- 講師とファシリテーターに分けてあるのがよかったと感じた
- 自身で検討した後にグループの意見を聞き、解説、事例発表という流れはとても頭に残りやすかった
- グループワークで知財を深掘りすることは新鮮だった
- ケーススタディについて、各グループの意見を聞いた
- 過去にないアクティブな研修で、非常に良かった
- とても素晴らしい。チームワークがよかった。
- 印象的で大変理解が深まりました
- 解説が簡潔で理解しやすかった (類似回答数4)
- 時間がもっとほしかった (類似回答数3)
- ポイントを整理いただいた (類似回答数2)
- 少し冗長に感じたため、もう少しコンパクトな量が望ましい (類似回答数2)
- わかりやすかったです。もう少し情報量が多くてもよかった。
- 具体的事例で分かりやすかった
- 各ケーススタディについてもう少し時間が欲しかった
- もう少し討論時間があってもよかった
- 先に発表者と書記を決めるとよかった
- 国内編5-1は専門用語が多く、楽しかったが学生向けで使うとしたら難しいかも知れない
- 進行が適切だった

## 7. 本教材(研修テキスト、ケーススタディ集等)について

### A. 本教材を使ってみたいと思いますか

(回答数 245 : 一般セミナー全員)



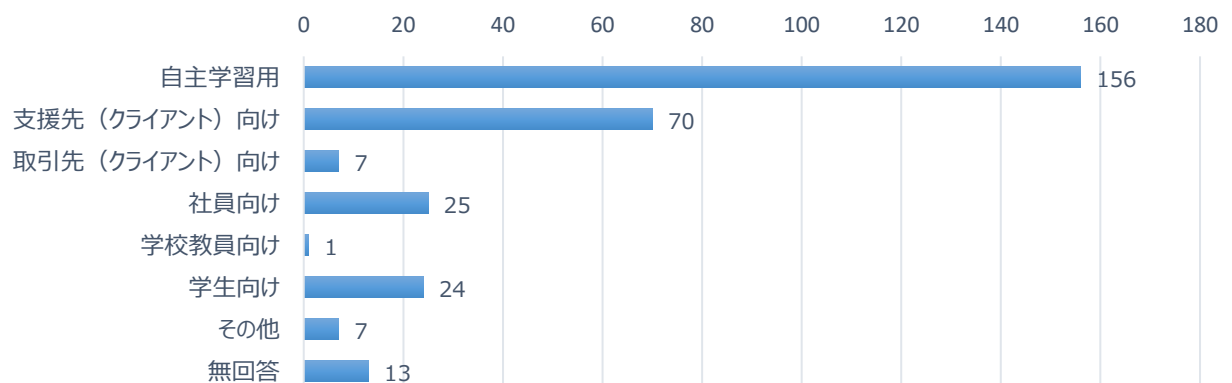
■ 使ってみたいと思う

■ 使ってみたいと思わない

#### [自由記述] (回答数72)

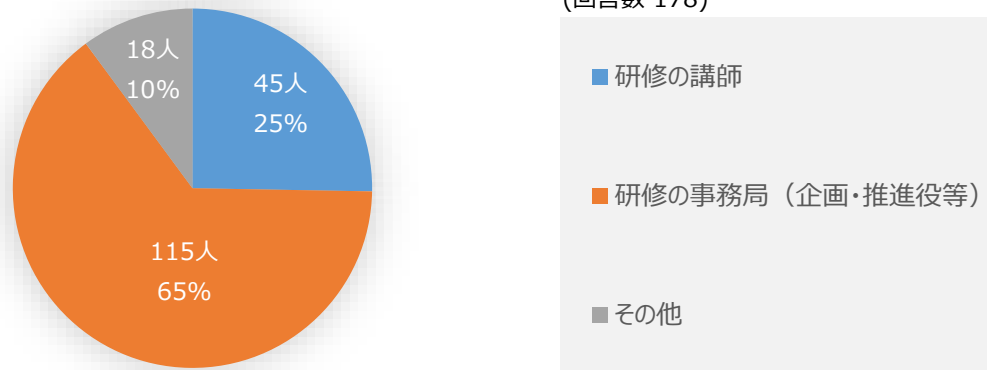
- 職場で共有、紹介したい。教育資料として使用したい。(類似回答数12)
- 事例、具体例で理解しやすい(類似回答数11)
- 分かりやすい。使いやすそう。(類似回答数10)
- 実際の企業、顧客支援に役立てたい(類似回答数6)
- 参考にできる、役立つ(類似回答数6)
- 知財に詳しくなくても理解しやすく読みやすい(類似回答数4)
- 使い方をよく考えてから(類似回答数4)
- 分かりやすく学べる。他にどのような事例があるか興味がある。(類似回答数4)
- 事例が面白い(類似回答数2)
- 知財に関する講義やワークで利用できる(類似回答数2)
- まずは内容をじっくり確認する(類似回答数2)
- 使いやすい教材で、マニュアルがあるのもありがたい
- 小説形式でわかりやすかった。主体的に考えるので、話が入ってきやすかった
- 知識がまとまっているので
- スタートアップ向けの勉強資料として紹介したい
- 知財を取り扱う上で個人だけでは判断が難しい(知ってもらって)ほかの意見をもらうため
- 開発者目線よりも事業目線の内容であったため
- 知財の学習材料は普段あまり目にしないため
- 知財戦略とは具体的に何かをしりたいため
- ディスカッション形式で楽しんでできるから
- 目先の事業計画策定支援に留まりそうだから
- 今は使えるところがない(集客できないのではないかなと)
- 企業規模がさらに小さい事業者を相手にしているから。特許費すらためらう。
- 社内では自分しか必要ないため
- この教材がもし英語でできていたとしたら、生徒の英語力がそこまで高くないので英語の授業で使うには難しすぎる
- カリキュラム上空いている時間がない
- 使える状況を見極めたい
- 1回読んで理解したら十分かと思う

### B. 使ってみたいと回答した方は、本教材を誰に対して使ってみたいですか (複数回答可)



### C. 本教材を他者への研修等で使われる場合、あなたはどの立場ですか

(回答数 178)



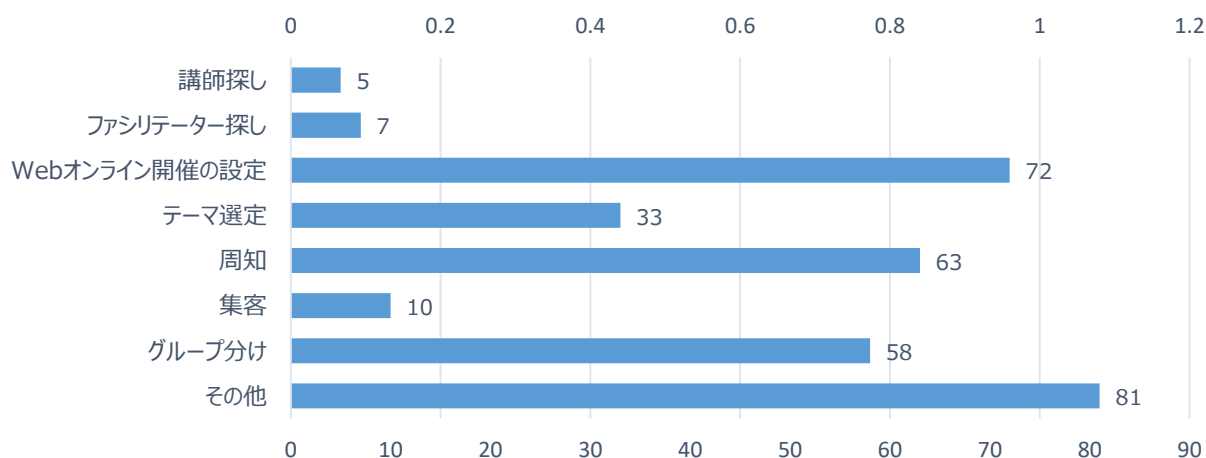
### 8. 紹介したケース以外に、興味のあるテーマや内容がありましたらお書きください（自由記述）

- ・ トライアンドエラーに恐怖がある
- ・ 食品業界のケース
- ・ 特許等を申請する具体的なプロセス
- ・ キャラクターでどこまで似ていたら侵害か？
- ・ IPランドスケープの活用方法
- ・ NDA 秘密情報のコンタミ防止
- ・ 支援機関の相談対応例や失敗例など
- ・ 特許出願についての戦略(どういった場合に出願するべきでどういう場合ならノウハウとするのかetc.)
- ・ 特許調査・市場調査、マーケティング
- ・ 他社特許の侵害(自社特許の保護だけでなく)
- ・ アカデミア版のケーススタディ集を作っていただきたい
- ・ 得意先へ提出する商品仕様書に関する情報の開示制限(食品の配合、組成など)
- ・ 新しいビジネスの創出の仕方
- ・ 新事業創出を邪魔する経営体制を打破する方法(頭の固い経営者を)
- ・ 特にベンチャーに特化した知財戦略
- ・ 花に関する知財
- ・ 経営戦略・自社開発後の動き方
- ・ ビジネスの始め方について
- ・ 公益性の高い技術は権利を守るべきか、など
- ・ 工業所有権について
- ・ ピッチでどこまで情報を公開するか
- ・ ディープテック・スタートアップ(特にバイオ等)の成功・失敗事例
- ・ 大学発ベンチャーのケースなど。
- ・ 医療アプリなど先端な技術に関する事例
- ・ 訴訟
- ・ ソフトウェア関連の出願に関わるテーマ
- ・ 社内システム開発会社における特許権で守るのか著作権で守るのかの判断基準
- ・ 互いに技術、権利が重なり合う分野での戦略
- ・ 企業価値を高めるための知財活用
- ・ ファミリービジネス
- ・ 知財権の有効活用(守りではなく攻め)
- ・ 商標、知財実務について (類似回答数2)
- ・ 失敗事例集など (類似回答数3)

## 9. 本教材について改善が必要な箇所や付加してほしいことなどありましたらご記入ください（自由記述）

- ・ 講師の解説とアンケート記入が重複してしまったため、個別の時間を設ける必要がある
- ・ いろいろな意見を追加すればさらに良いと思う
- ・ 企業にとって知財戦略が重要であることは理解したが、タイトルにある「次の一手」とは何なのかを明確にしたほうが良いと思う
- ・ テーマに関する技術的な情報をもっとほしい
- ・ 事例ごとにどんなSWAT分析をしたのか分かったとより良いと思った
- ・ 「水道圧のみ90%で節水ができる」というのは意味が伝わりにくいと思った
- ・ 具体的な金額、スケジュール等のイメージ
- ・ 設問の言いまわしの変更。「～せよ。」→「～してください。」「意図は何か?」→「意図は何だろうか?」。ケーススタディの企業の立場で考える設問にしても良いかもしれない。

## 10. 教材を実際に活用する際に懸念される事項はありますか（複数回答可）



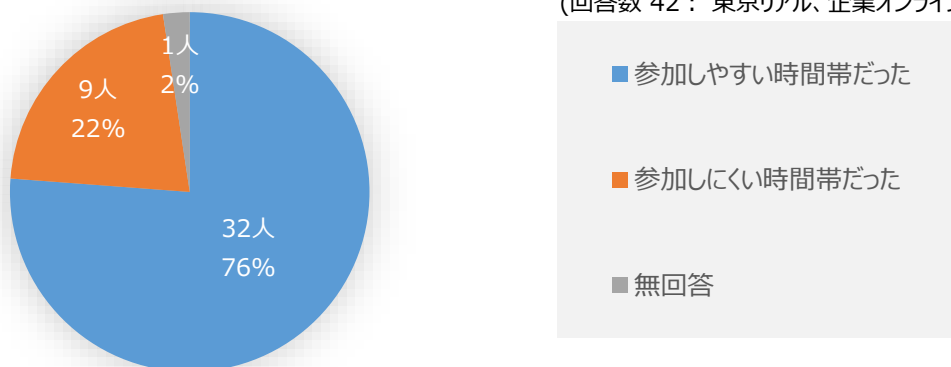
### [その他]

- ・ 参加者の理解と共感
- ・ 自分の理解と話力
- ・ 要望の有無
- ・ ワークショップにおける議論の盛り上がり
- ・ 教える対象者に合わせたテーマ選定

## 11. セミナーの開催時間は、参加しやすい時間帯でしたか

(東京: 17:00-19:00、企業: 13:00-15:00)

(回答数 42: 東京リアル、企業オンライン)



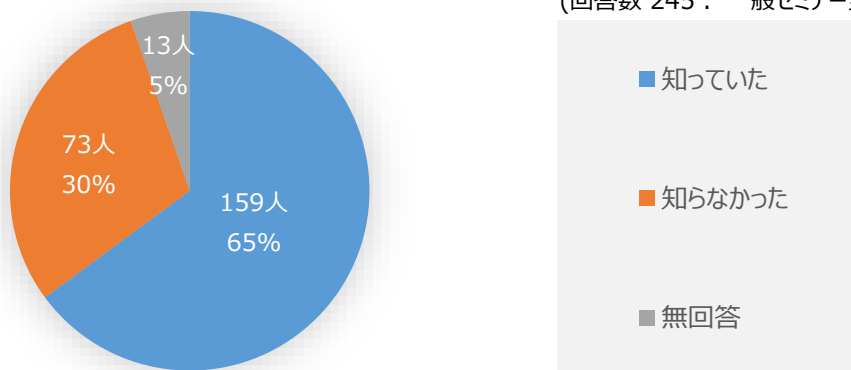
「参加しにくい時間帯だった」とお答えいただいた方は、参加しやすい時間帯や曜日等ございましたらご記入ください。

- ・ 午前
- ・ 15時以降
- ・ 15～16時スタートが望ましい
- ・ もう少し早い方がうれしい (東京)
- ・ 17時まで終了だと子育て世代も参加しやすいと思う
- ・ 18:00以降 (同回答3)

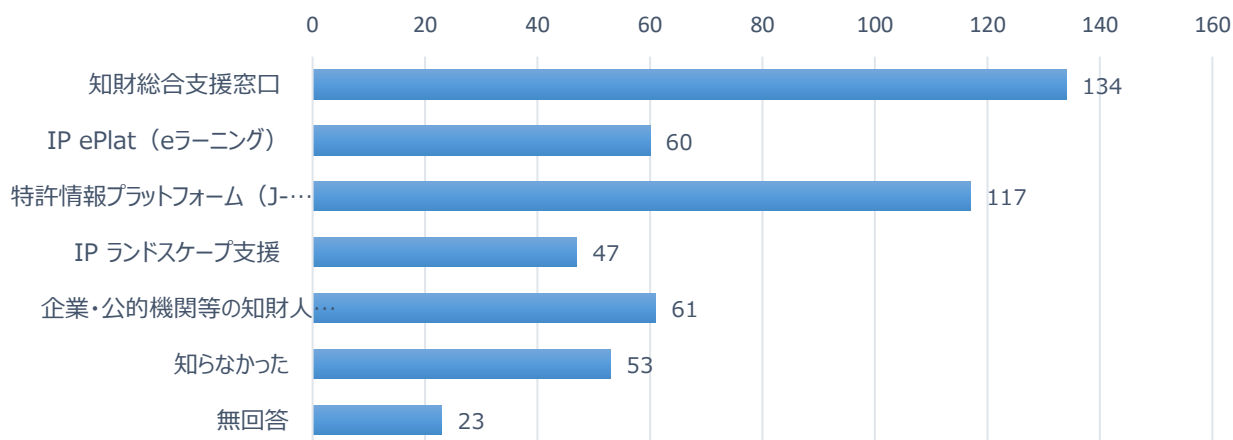
## 12. INPITについて

### A. INPITをご存じでしたか

(回答数 245：一般セミナー全員)

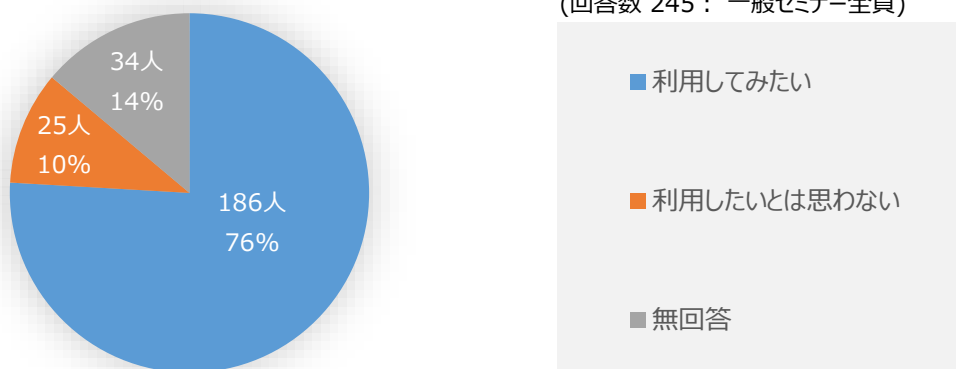


### B. INPIT提供事業でご存知のものはありますか (複数選択可)

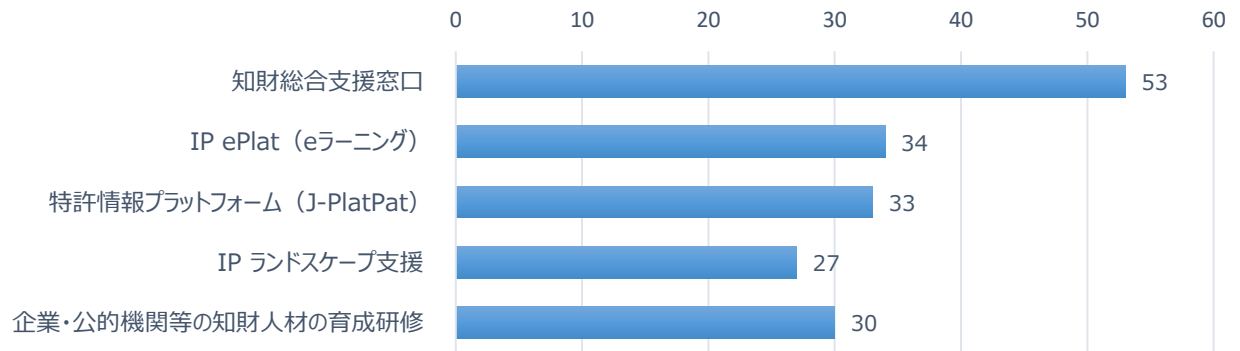


### C. INPITの提供事業を利用してみたいと思いますか

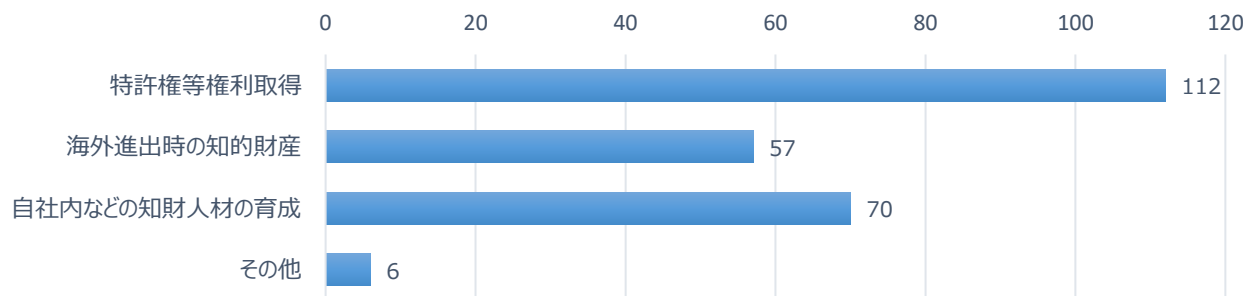
(回答数 245：一般セミナー全員)



**D. 「利用してみたい」と回答した方に、お尋ねします。利用したいと思う事業を具体的に教えてください。(複数回答可)**



**13. その他、知的財産について関心のある内容がありますか (複数回答可)**



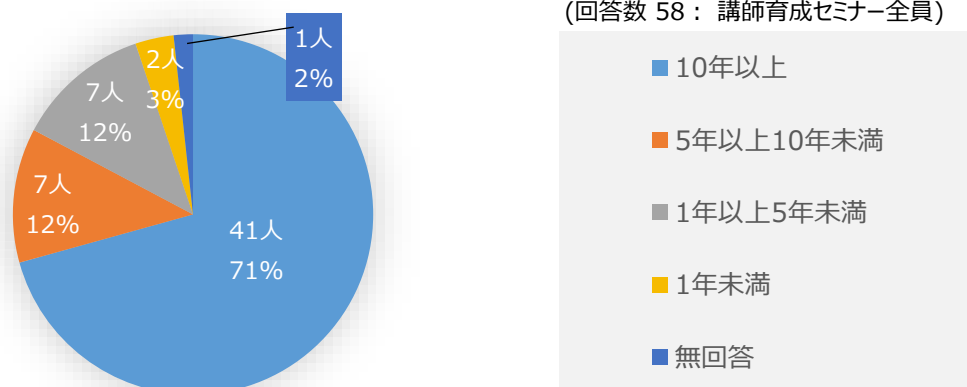
**[その他]**

- ・ 学生への教育 (同回答2)
- ・ 新入社員への研修
- ・ 研究者の知財リテラシー向上(特に医学部)
- ・ 特許の分析、マップ、分析の自動化
- ・ 講師できるほどの学習

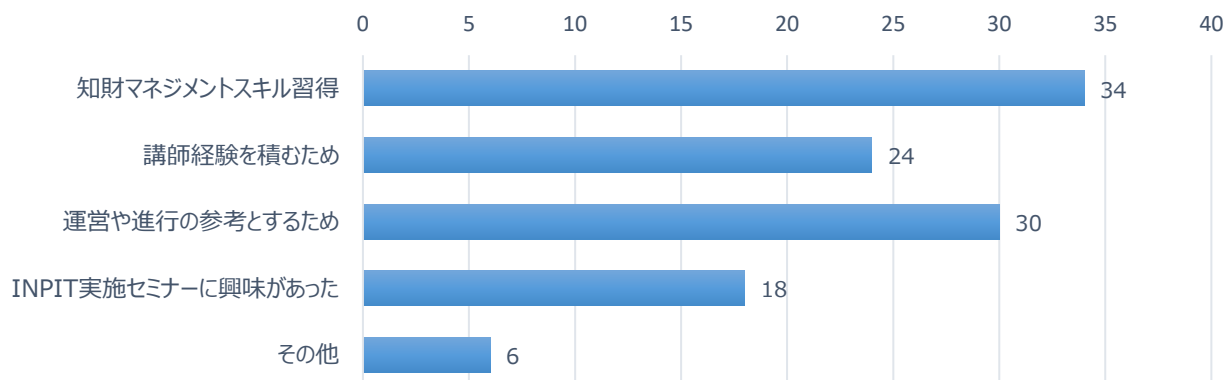
## 【講師育成セミナー】

### 1. 弁理士としての経験年数

(回答数 58：講師育成セミナー全員)



### 2. 本セミナーに参加した理由をお聞かせください(複数回答可)



#### [その他]

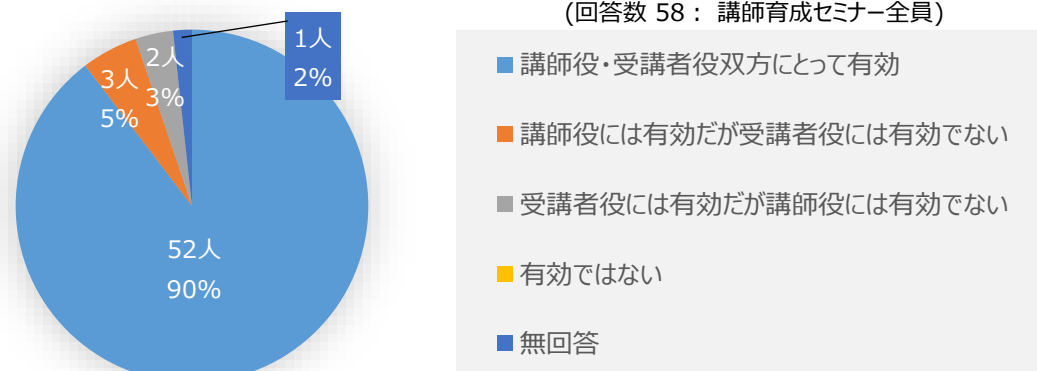
- ・九州会でINPIT知財マネジメントセミナー講師が少なく、選任を楽にするため
- ・関係会社支援に役立てたいと思ったため、中小企業診断士仲間へのレクチャーのため
- ・知財コンサルに興味を持っている人を探しにきた
- ・知財マネジメントスキル習得, 紹介があった
- ・講師業に興味があり、可能であれば講師で生計を立てたいため
- ・運営や進行の参考とするため、社内向けに使えるような説明レポトリーを増やすため

### 3. 講師育成セミナーのプログラム内容について

#### A. (1)模擬セッション(\*)の内容は、講師としてのスキルアップに有効だと思いましたか

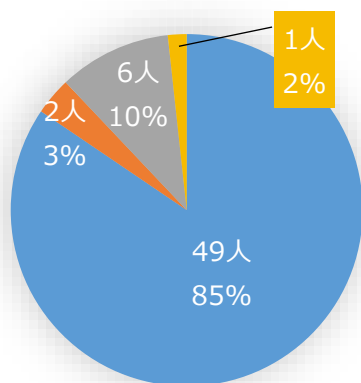
\* 参加者から講師役を募り、模擬講義を行った後ファシリテーターと受講者側からフィードバックを行うなど

(回答数 58：講師育成セミナー全員)



**B. 模擬セッションの1回あたりの時間は適切だと思いますか**

(回答数 58：講師育成セミナー全員)



■ 全体的に適切な長さ

■ 長すぎる

■ 短すぎる

■ その他

**C. 「長すぎる」と回答された方は、どの点が長いと感じましたか**

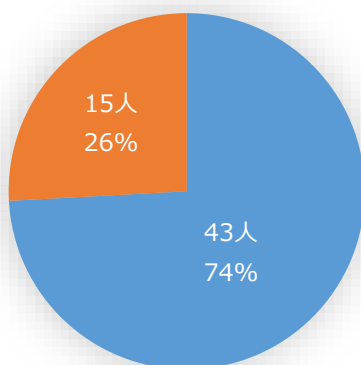
- ・ 模擬講義 (同回答3名)

**D. 「短すぎる」と回答された方は、どの点が短いと感じましたか**

- ・ 模擬講義 (同回答3名)
- ・ フィードバック
- ・ 両方 (同回答2名)

**E. 扱う事例を変えた同様の研修を再度受けてみたいと思いますか**

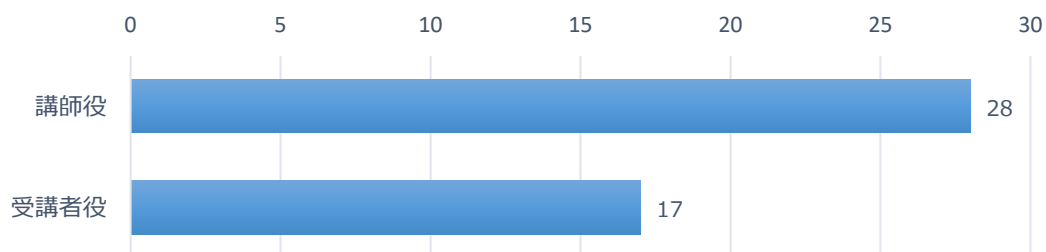
(回答数 58：講師育成セミナー全員)



■ 受けてみたい

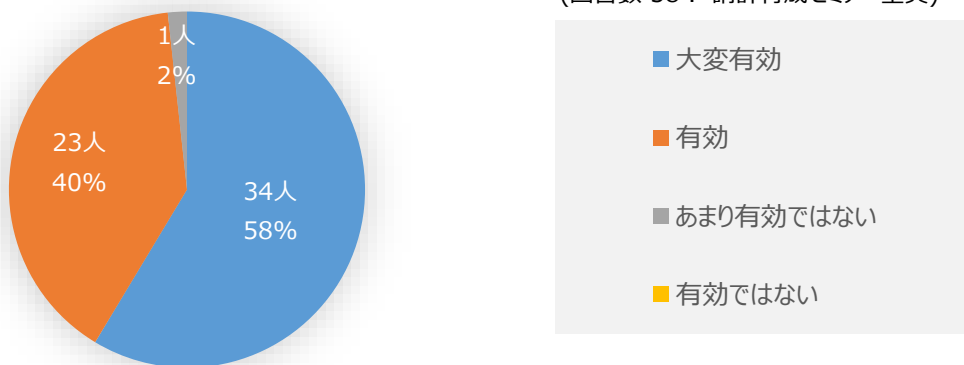
■ 受けてみたいと思わない

**F. 「受けてみたい」と回答した方は、どちらを希望されますか (複数回答可)**



### G. 本教材及びグループワーク形式の研修は知財マネジメントを学ぶのに有効だと思いますか

(回答数 58：講師育成セミナー全員)



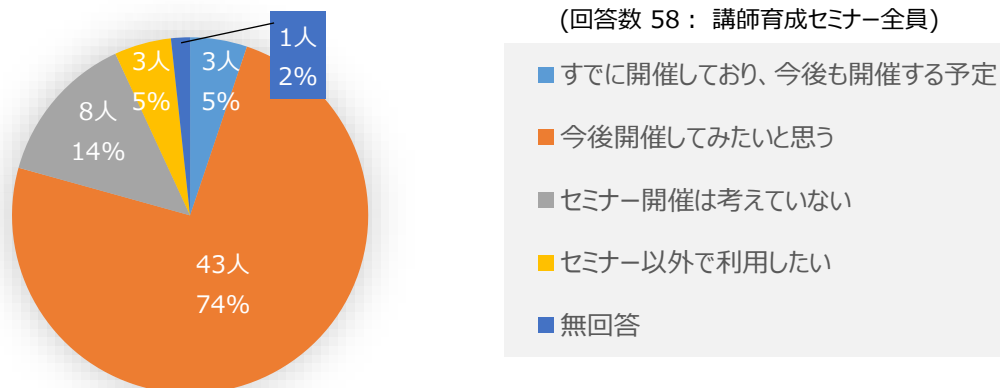
### H. その理由

- いろんな意見を知ることができる
- アクティブラーニングとして有効だと思う
- 人の意見を聞ける(参考になる)
- 事例に即した学習は大変勉強になる
- あまり事例がない
- 短時間でメンバーに自分の意見を理解してもらうように説明するトレーニングになる
- 様々なバックグラウンドの方の意見が集まる点
- 新しい視点がえられる
- ビジネスにおいて具体的な知財の取り扱いを考える機会となる
- 実際やってみないとわからない
- 事例形式だと知識の習得もできる
- 実例に近いケースでより身近に感じられる
- ストーリー的に学習できるから
- 事例に基づいて多様な参加者の意見を聞ける
- 立場の異なる意見を取り入れることができる点有効
- 議論が活発になる
- 具体的な事例に基づいており、議論が深まりやすい
- 内容がわかりやすかった
- 弁理士同士のディスカッションなので議論が深まった。一方、設問の意図を汲み取るのが難しい問もあった。
- 事例がよい
- 受講生役の立場を経験できてよかった
- 弁理士の活躍範囲の拡大に有効
- 具体的な検討ができる
- 私の会社の社員へのセミナー用としてはテキストのレベルが高い

## 3. 本教材やセミナーについて

### A. 本教材の利用やセミナー等の開催(主催者または講師として)について

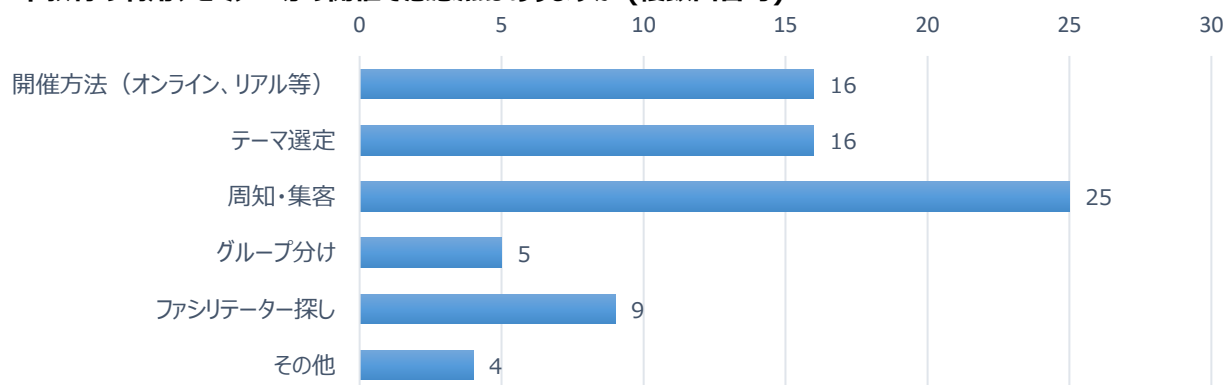
(回答数 58：講師育成セミナー全員)



### B. “セミナー以外で利用したい”と回答した人の具体的な回答

- ・ 社内教育

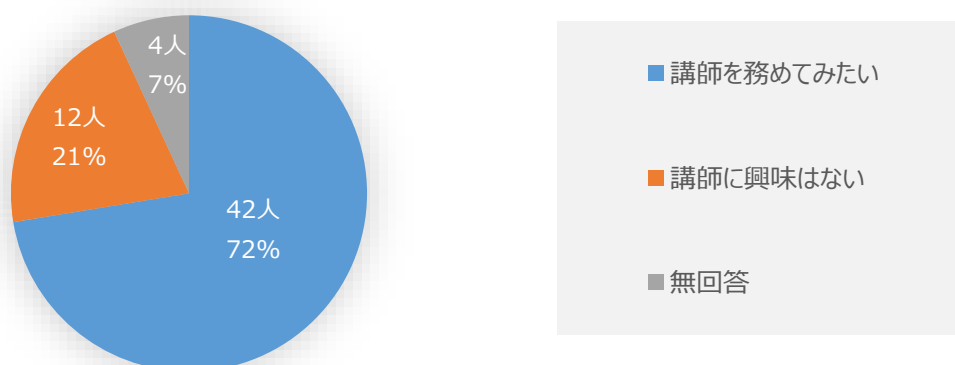
### C. 本教材の利用、セミナー等の開催で懸念点がありますか（複数回答可）



#### [その他]

- ・ 地方在住者にとっては、オンラインでないと難しい
- ・ 懸念ではないが、どのように3つのテーマを選択したのか気になった
- ・ ブレイクアウトのやり方などZoomの使い方
- ・ 聴講者の知的財産に関する知識レベルとのすり合わせ

### D. INPIT主催により開催する本教材を用いた中小企業等を対象としたセミナーで講師を務めてみたいと思いますか



### E. 本教材について改善が必要な箇所や付加してほしいことなどあればお書きください（自由記述）

- ・ アイスブレイクの事例についても記載して欲しい
- ・ もっと簡単なテキストを作してほしい
- ・ 個人の時間なのに、話をする人がいるのが邪魔になった
- ・ もう少しやさしい事例があってもよい
- ・ 動画などがあるとよいと思った
- ・ 弁理士登録してからずっと商標、途中から意匠、の業務が中心のため、特許を中心とした事例の紹介に若干不安がある
- ・ 今回オンラインだったが、地方でも対面の講師育成セミナーの機会をいただきたい  
議論する時間が短かったので改善が必要だと思います
- ・ もう少し、回答と設定との関連をつけてもらった方がよいようなところもありましたが、議論を広げるために意図的に奏されたのかなと思う
- ・ 限られた時間内で読む必要があるため情報量に限界があるが、もう少し設問の趣旨に沿った議論ができるような誘導説明や質問の仕方などがあると良い
- ・ アンケートを無記名にする
- ・ 模擬事例の設問の文章が少し長いように思った